

学校だより 10月号

# あいかわ



発行所 厚木市立相川小学校  
発行者 中村 明子  
発行月 平成 29年 10月  
児童数 10月11日現在 200名  
電話 046-228-2610

## あたらしい いのちの かのうせいを わたしたちはつくる

校長 中村 明子

相川小の職員室には、谷川俊太郎さんが書かれた詩のプレートが飾られています。私はつい最近まで、これは本校のために谷川さんが作られた詩なのだと思っていました。ところが、実はこの詩にはこんなエピソードが隠されていたのです。

2011年3月11日(金)に起きた東日本大震災で、東北を中心に多くの人達が被災されました。津波で校舎が使えなくなってしまい、他校の校舎を間借りして学習を行わなくてはならない子ども達も大勢いました。その学校の一つが、石巻市立相川小学校です。

「私たちと同じ校名を持つ『相川小学校』の子ども達のために、自分達ができる事はないか？」ある6年生の児童の思いを出発点として、翌年度、

相川交流プロジェクトが発足しました。当時の校長、中川校長先生やPTA 会長有坂さん、現学校運営協議会委員の濱田さん達が、何度も被災地に足を運び、プロジェクトの基礎固めをされたそうです。そして石巻市相川地区の皆さんや子ども達との交流が実現しました。毎年、石巻への訪問を続けた相川交流プロジェクトは、2015年度を最後に終了しましたが、今でも、中川校長先生や有坂さん達は、震災後石巻市立相川小学校の校長を務められていた橋本校長先生や仮設住宅にお住いの方たちとの交流を続けていらっしゃいます。

今年9月にも5名の方が石巻を訪問されました。その際に橋本校長先生から有坂さんへと手渡された論文が私の手元にも届きました。「被災地北上から未来へつなぐ ～閉校・統合を乗り越えて～」と題されたその論文には、被災後の石巻市立相川小学校の取組の様子や、相川小学校が閉校となり、3つの小学校が統合されて北上小学校として新たなスタートを切るまでの足跡が克明に記されていました。多くの人たちにその道のりを知ってほしい、次代を担う人たちに記録として残しておきたい、そんな強い思いが文章全体から感じられました。

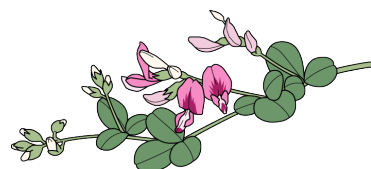
その中に、谷川俊太郎さんと相川小の子ども達との授業の様子が描かれている場面を見つけました。閉校の記念に行われたその授業は、「言葉遊び」を中心に、子ども達が言葉の世界に浸りきることでできる素晴らしい授業だったようです。冒頭の「あたらしい いのちの かのうせいを わたしたちはつくる」は、授業中、言葉遊びの例示として谷川さんがさりげなく黒板の端に書かれたものだったことでした。谷川さんは、授業中一切震災のことには触れなかったそうですが、相川小学校の子ども達に対する谷川さんの心からの思いやメッセージが伝わってくる詩です。

では、なぜ本校にその詩があるのでしょうか。中川校長先生にお聞きしたところ、閉校の記念に橋本校長先生からいただいたものだったことでした。詩はタイルに印刷されています。石巻市に隣接する女川町では復興に向けてスペインタイルを広める活動をしています。「そのタイルを使うことで、復興への思いをこめるねらいもあったのでは？」中川校長先生はそうおっしゃっていました。

10月3日(火)、朝会でこの話を子ども達に伝えました。年月が流れ人が入れ替わっていく中で、忘れられていくことはたくさんあります。でも、語り継いでいかななくてはいけないこともたくさんあります。その一つがこの詩とその背景の物語です。谷川さんの詩を通して本校の子ども達に伝え続けていきたいこと、考えてほしいことを私たち教職員もしっかり共有していきたいと思ひます。

このおたよりを発行するにあたり、橋本校長先生とお話しする機会を得ました。その際にお聞きした谷川さんの授業でのもう一つの言葉を、最後にご紹介いたします。

「あいかわらず 美しい自然を 信じよう」



# 運動会～雨にも負けず～

9月16日(土)、秋晴れのもと、といたたいところですが、今にも雨が降りそうな天気の中で、「雨天用プログラム」での運動会実施となりました。

開会式終了後、雨が降り始め、途中雨脚が強くなり中止も考えられましたが、今回は、最後まで行うことができました。8月30日に2学期が始まり、短期間でしたが子ども達は集中して練習に取り組んでいました。その成果を存分に発揮でき良かったです。表現では、とても良い表情・動きで演技していましたし、団体競技では、赤組・白組どちらも力を合わせ堂々と競っていました。その姿は、見る者に感動を与えてくれました。

6年生にとっては、最後の運動会。夏休み中から、5年生に教えるためダンス実行委員会を中心に練習を重ねてきました。応援団、委員会の仕事、冒険隊での長縄などでもリーダーシップを取り、全校のために自分の役割を果たしていました。5年生をはじめ下学年の子ども達は、様々な場面で活躍する6年生の姿を見ていたことと思います。良い伝統として、来年度へ引き継いでいってほしいと思います。

さて、今回このような天気の中、最後まで運動会を実施できたのには二つのポイントがありました。

一つ目は、自治会のご厚意によりテントをお借りできたことです。もともとは熱中症対策でお借りしたのですが、雨対策にも功を奏しました。二つ目は、雨雲レーダーの活用です。スマホを片手にレーダーとにらめっこしながら中断・再開を決定していきました

保護者・地域の皆様、最後まで子ども達の演技に拍手や大きな声援を送ってくださりありがとうございました。また、午前日程だったためお昼を過ぎたにもかかわらず、片づけを積極的に手伝っていただき感謝申し上げます。

## 行ってきました！ ナイトウォーク

学校運営協議会主催「海老名に向かってGO!」が9月30日に実施されました。総勢53名、海老名サービスエリアをめざしました。

片道6.8km、参加者どうし会話を楽しんだり、くじけそうになった時に励ましあったりして交流を深めました。参加者からは、「来年も参加したい」という声もあがるほど好評でした。到着後、運営協議会委員より完歩賞としてメダルを贈呈しました。海老名サービスエリアで食事&お土産タイムを過ごした後、復路学校をめざしました。みなさん、お疲れ様でした！



3・4年 HANEKO!!



5・6年 未来～自分はきっと想像以上だ～



1・2年 たのしく おどったって ええじゃないか！

